

ファッション業界における持続可能な消費と生産

ーサステナブルファッションを中心にー

現在、私たちは環境問題や資源の枯渇など様々な「持続可能性（サステナビリティ）」の課題に直面している。その中で特に注目されているのがファッション業界である。人々の生活において、不可欠な「衣食住」の衣の役割を担っているファッションは生活に深く根差し、環境や社会に大きな影響をもたらしている。

本論文では、ファッション業界における持続可能な消費と生産に焦点を当て、その重要性和実現可能性についてサステナブルファッションを軸として考察し、明らかにすることを研究の目的とし、考察した。サステナブルファッションとは、衣服の生産から着用、廃棄に至るプロセスにおいて、将来にわたり持続可能であることを目指し、生態系を含む地球環境や関わる人・社会に配慮した取り組みのことである。

その結果、大量生産や大量消費による CO₂ の排出や、資源の枯渇などの問題がありそれらの問題に対して企業の通り組が行われていることがわかった。また、サステナブルファッションが進んでいるヨーロッパでは路上に衣類回収ボックスを設置していた。反対に日本は、リサイクルが進んでいないがリセール市場が進んでいた。

これらのことから、技術の進歩や個人の認識や取り組み次第で持続可能になるかどうかが決まり、明らかとはならなかった。結論として、ファッション業界を持続可能なものしていくためには、個人の意識の高まり、生産や廃棄における技術の進歩、政府などの国の介入が必要である。